



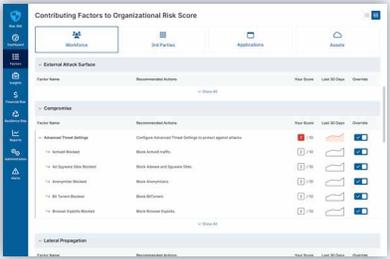
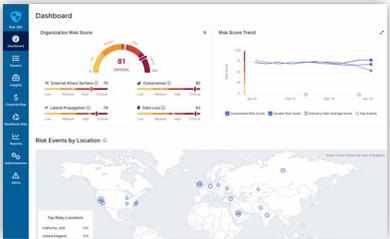
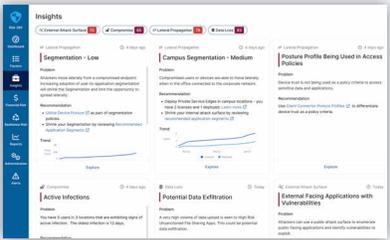
Zscaler Risk360™

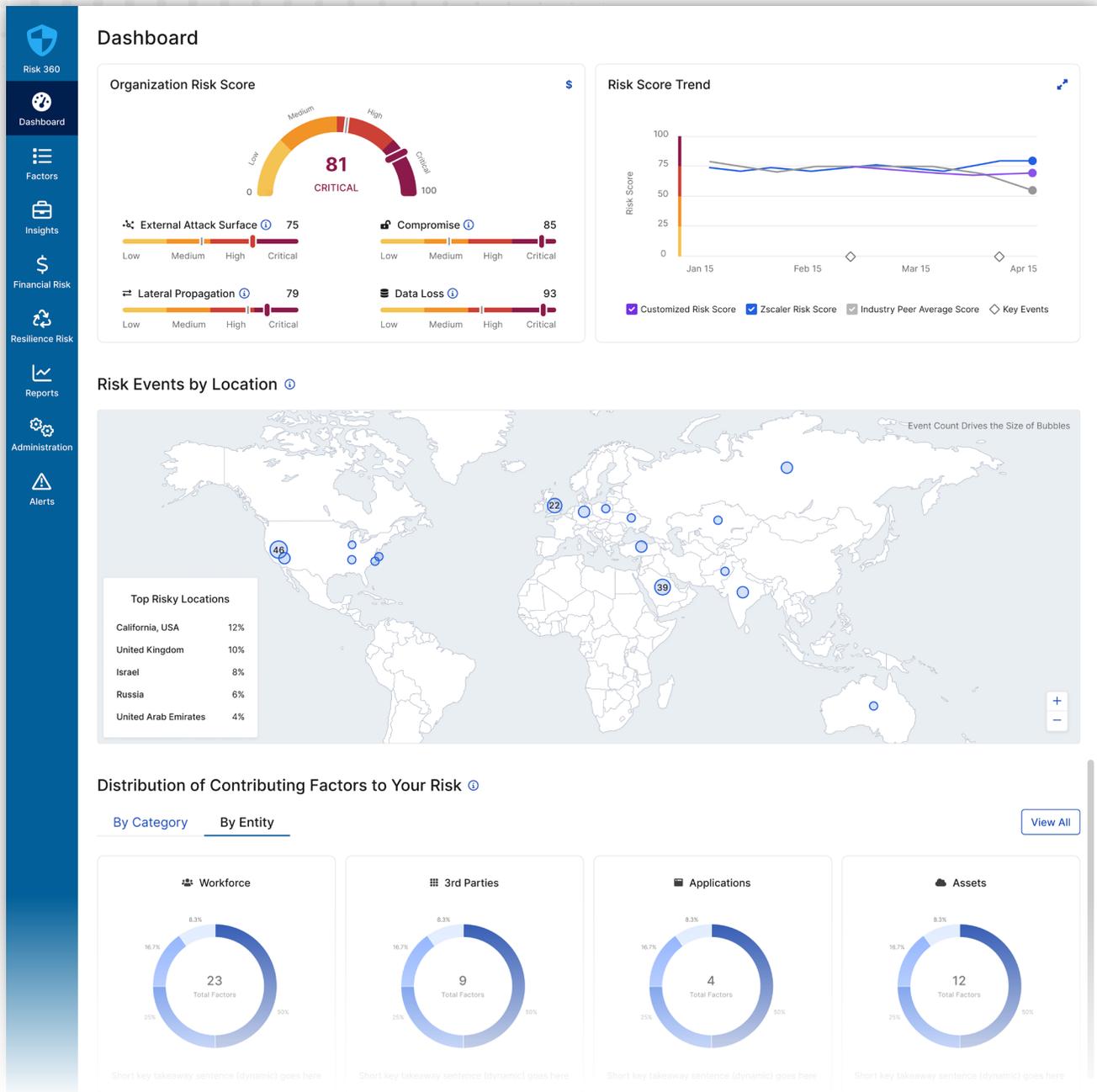
サイバーセキュリティリスク修正のための
総合的なリスク定量化および可視化フレームワーク

Zscaler Risk360 : リスクの定量化と可視化のためのフレームワーク

Risk360 は、リスクの定量化と可視化を行う強力なフレームワークで、サイバーセキュリティ リスクの修正に役立ちます。外部ソース、Zscaler 環境、ThreatLabz のセキュリティ リサーチから実際のデータを取り込み、リスク状況に関する詳細なプロファイルを生成します。

Zscaler Risk360 では、お客様のサイバーセキュリティ環境内に存在する 100 を超える要素を活用して、財務損失の見積もり、サイバー リスクを高める主要要因、推奨される調査ワークフロー、リスク傾向、同業他社との比較情報を確認できるほか、具体的な行動に生かせる CISO 向けの概要レポートを作成できます。Risk360 のモデルは、攻撃の 4 つの段階をカバーしています。すなわち、攻撃対象領域の露出、侵害、水平移動、情報漏洩です。資産、アプリケーション、ユーザー、サード パーティなど、環境内のあらゆるエンティティが対象になります。

<p>外部攻撃対象領域</p>	<p>Zscaler Risk360 は、露出したサーバーや ASN など、一般に発見できる可変要素を幅広く調査し、機密性の高いクラウド アセットを特定します。このレポートでは、インターネット上で発見可能なすべてのアセットを総合的に把握し、脆弱性となっていたり、露出していたりする可能性のある外部攻撃対象領域を完全に確認できます。</p>	
<p>侵害</p>	<p>Zscaler Risk360 は、イベント、セキュリティ設定、トラフィックフロー属性を広く分析し、侵害リスクを計算します。これにより管理者は、悪意のあるファイル、ゼロ号患者のエクスポージャー、感染の兆候を示すユーザーなどといったリスクを把握することができます。</p>	
<p>ラテラルムーブメント</p>	<p>Zscaler Risk360 は、プライベート アクセスに関する設定や測定データを用いて、脅威の水平移動のリスクを計算します。この画面でセグメンテーション ポリシーの評価を行うことで、サイバー攻撃者のネットワーク内での侵入範囲拡大防止に役立てることができます。</p>	
<p>情報漏洩</p>	<p>機密データ属性を収集し、お客様の環境からのデータ漏洩の可能性を確認できます。情報漏洩に関する状況理解や全体像の把握に役立ち、データ侵害の回避に不可欠な情報を提供します。</p>	



Risk360 の仕組み

- 1 アクセス**

Zscaler お客様はすべて、Zscaler Risk360 をすぐにご利用いただけます。
- 2 データの取り込み**

Zscaler 環境の内外のソースからのデータを処理し、広範なデータに基づいてリスクに関する概況を示します。
- 3 リスクの軽減**

リスク要因をフィルタリング、細分化、特定し、サイバー リスクを高める特に深刻な問題を修正するための対応を行います。
- 4 財務分析**

データとリサーチに基づき、組織の属する業界に合わせて財務的な損失の見積もりを行い、Zscaler のリスク スコアにマッピングします。

Zscaler Risk360 が提供する価値

リスクの定量化

Zscaler Risk360 は、侵害の 4 つの段階すべてに関するリスク スコアを作成し、従業員、サードパーティー、アプリケーション、アセットなどすべての利用エンティティごとに可視化します。このリスクフレームワークは、Zscaler ThreatLabz のエキスパートによる数年にわたるセキュリティリサーチに基づき、数百のシグナルで裏付けられています。また、Zscaler Zero Trust Exchange はオンラインで配置されているため、独自の機能により高精度でリスク要因を特定できます。Zscaler Risk360 は、Zscaler Zero Trust Exchange だけでなく、EDR などのサードパーティーのソースから得られたデータも利用し、十分な情報に基づいてリスク スコアを導き出すことが可能です。こうしたすべての要素を組み合わせることで、サイバーセキュリティに関する予算配分や投資、リスクの緩和戦略の立案に役立てることができます。セキュリティチームは、Zscaler Risk360 のスコアを活用して、セキュリティに関するあらゆる投資判断のためのビジネス ケースを作成できます。

直観的な可視化とレポート作成

Zscaler Risk360 は、リーダー向けのハイレベルの概況を確認するための、直観的な可視化機能およびレポート作成機能を備えています。リーダーや実務担当者は、組織のサイバーセキュリティリスクの主な要因をフィルタリングおよび細分化し、より深い分析を行います。セキュリティ上の意思決定に役立てることができます。また、財務的な損失の見積もりについて、推奨される損失軽減策も含めて確認できます。さらに Zscaler Risk360 では、ハイレベルの概況をまとめたスライドを非常に簡単にエクスポートすることができ、上位役職者の会議で、サイバー リスクや主なリスク所見、財務損失の見積もりについての説明に役立てられます。セキュリティチームはビジネス上の価値を高めることに集中し、また、レポート作成プロセスを自動化できます。

Zscaler Risk360 のメリット

- 攻撃の 4 つの段階にわたるリスク エクスポージャーの正確な把握
- 複数のソースを統合したリスク スコアによるサイバーリスクの完全な把握
- 組織のサイバーセキュリティ上の主要リスクの把握と要因の評価
- 特に深刻な問題の調査と修正のための実用的なインサイトとワークフローのガイダンス
- CXO 会議や取締役会レベルのレポート作成、サイバー リスク管理、戦略、ガバナンス、コンプライアンス、サイバー リスク保険のためのガイダンス強化
- モンテカルロ法の解析結果範囲を含む、財務的損失の定量化のレポート
- MITRE ATT&CK や NIST CSF などのセキュリティ リスク フレームワークへのマッピング

修正のための実用的なインサイト

Zscaler Risk360 のリスク修復フレームワークを利用することで、優先順位を付けたうえでポリシーの更新や修正の対応を行えるようになります。また、調査ワークフローのガイダンスを行う機能も備えており、これを活用して特定の問題を深く掘り下げて調査することができます。たとえば、機密データをアップロードしているユーザーを具体的に特定することも可能です。リスク スコアを定期的にモニタリングし、組織のリスク状況に対する理解を深められます。

ユース ケース

組織全体のサイバー リスクの定量化と可視化

Zscaler Risk360 は、内部 (Zscaler Zero Trust Exchange) と外部 (サード パーティー) のソースから実データを取り込む自動化エンジンを活用しています。組織のリスクを 0 から 100 (100 が危機的) のスコアで示し、同業他社と比較してベンチマークを確認したり、経時的なトレンドを把握してセキュリティ態勢の改善状況を確認したりすることができます。多くの組織がゼロトラスト導入に着手するなかで、Zscaler Risk360 は、ゼロトラスト化の取り組みをスコアとして視覚化するのにも役立ちます。

データに基づくリスクの修正

調査ワークフローのガイダンスやインサイトに基づく実行可能な推奨事項に沿って、リスク スコアの確認後、迅速な修正のための具体的な行動を取ることができます。Risk360 では、問題の一覧を優先順位付きで作成でき、推奨される調査ワークフローを通じてこうした問題の分析を行うことで、特定の問題を細分化して調査できます。

サイバー リスクが招き得る財務損失の見積もり

財務損失の定量化により、組織のリスクが財務面に及ぼす影響を見積もることができます。この財務リスクレポートには、財務面でのさまざまな潜在的影響を示すモンテカルロ法が含まれます。

レポート作成、リスク マッピング、ガイダンス

Risk360 は、サイバー リスク態勢をまとめた CISO 向けのレポートのほか、企業のゼロトラスト ジャーニーの状況や最もリスクが高いエリアを示す AI 活用型のサイバーセキュリティ成熟度評価など、すぐに使用できる詳細なレポートを提供します。また、MITRE ATT&CK や NIST CSF などのセキュリティリスクフレームワークへのコントロール マッピングも表示され、SEC Regulation S-K Item 106 のコンプライアンスレポートにも対応します。

Zscaler Risk360 の導入

Zscaler のお客様はすべて、組織のリスク スコアとともに、実用的なインサイトや推奨事項を迅速かつ簡単に確認できます。この可視化フレームワークを利用することで、CISO や CIO がサイバー リスクや潜在的な財務損失を評価できるようになるほか、同業他社とのスコア比較やリスク スコア改善のために推奨されるワークフローを確認できます。このレポートにアクセスできる部署では、リスクの種類、エンティティー (ユーザー、サード パーティー、アプリケーション、アセット)、場所といった切り口でデータを分析できます。このレポートでは、リスク別にユーザー リストを並べ替えられるほか、アプリケーション (SaaS アプリ、プライベートアプリ、その両方)、サード パーティー、アセットを、個別のリスク評価と共に示すことが可能です。

また、検出されたリスクや推奨事項に基づいて取られた行動を反映してリスク スコアを経時的に追跡することもできます。



Experience your world, secured.™

Zscaler について

Zscaler (NASDAQ: ZS) は、より効率的で、俊敏性や回復性に優れたセキュアなデジタル トランスフォーメーションを加速しています。Zscaler Zero Trust Exchange は、ユーザー、デバイス、アプリケーションをどこからでも安全に接続させることで、数多くのお客様をサイバー攻撃や情報漏洩から保護しています。世界 150 拠点以上のデータセンターに分散された SSE ベースの Zero Trust Exchange は、世界最大のインライン型クラウド セキュリティ プラットフォームです。詳細は、zscaler.jp をご覧いただくか、Twitter で [@zscaler](https://twitter.com/zscaler) をフォローしてください。

© 2023 Zscaler, Inc. All rights reserved. Zscaler™, Zero Trust Exchange™, Zscaler Internet Access™, ZIAM™, Zscaler Private Access™, ZPA™, zscaler.jp/legal/trademarks に記載されたその他の商標は、米国および/または各国の Zscaler, Inc. における (i) 登録商標またはサービス マーク、(ii) 商標またはサービス マークです。その他の商標はすべて、それぞれの所有者に帰属します。